



Yomeishu



第97期

中間株主通信

(平成26年4月1日～平成26年9月30日)



養命酒製造株式会社

証券コード：2540

経営理念

生活者の信頼に応え、
豊かな健康生活に貢献する

中期経営計画 基本方針

(平成24年4月～平成27年3月)

持続的成長に向けた
事業構造の変革

生活者の豊かな健康生活への
さらなる貢献を目指して



代表取締役社長

塩澤 太朗

平成26年12月

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。ここに、養命酒製造株式会社の第97期上半期（平成26年4月1日から平成26年9月30日まで）の営業の概況をご報告いたします。

第97期上半期の業績の概要

当第2四半期累計期間（平成26年4月1日から平成26年9月30日まで）におけるわが国経済は、政府の経済政策や金融政策により緩やかな景気の回復基調が続いているものの、個人消費については消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動が長引くなど、引き続き先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社の関連業界におきましても、生活防衛意識や節約志向、業種業態を越えた企業間競争の激化が続き、厳しい状況で推移いたしました。

このような状況の中で当社は、「生活者の信頼に応え、豊かな健康生活に貢献する」という経営理念の下、「持続的成長に向けた事業構造の変革」を基本方針とする中期経営計画の最終年度として、「養命酒」の効率的かつ効果的な販売促進活動により、「養命酒関連事業による安定的収益基盤の構築」に努めるとともに、この収益基盤に基づき、新商品の販売に注力するなど、「新規事業領域の拡大と成長性の確保」の各施策に取り組んでまいりました。

当第2四半期累計期間の業績は、売上高につきましては、「養命酒」の売上が消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動により4月から5月にかけて影響を受けたものの6月以降は前年を上回る基調で推移したことに加え、新商品等の売上也寄与したことによりほぼ前年同四半期並みとなり、6,109百万円（前年同四半期

比0.2%減）となりました。利益面につきましては、新商品上市に伴う販売費及び一般管理費の増加や「養命酒」の売上減少により営業利益は848百万円（前年同四半期比10.0%減）、経常利益は1,001百万円（前年同四半期比7.8%減）となりました。四半期純利益につきましては、社有地売却に伴う固定資産売却益260百万円を特別利益に計上したこと、前年同四半期には減損損失を計上していたことにより、843百万円（前年同四半期比550.1%増）となりました。

上半期業績のポイント

- 中期経営計画最終年度
- 売上高 前年同四半期比0.2%減
 - ・「養命酒」は駆け込み需要の反動減があったものの回復基調
 - ・新商品等の売上の寄与
- 営業利益 前年同四半期比10.0%減
 - ・新商品上市に伴う販売費及び一般管理費の増加や「養命酒」の売上減少
- 四半期純利益 前年同四半期比550.1%増
 - ・社有地売却に伴う固定資産売却益260百万円を特別利益に計上
 - ・前年同四半期には減損損失を計上

売上高	6,109百万円 (前年同四半期比0.2%減)
営業利益	848百万円 (前年同四半期比10.0%減)
四半期純利益	843百万円 (前年同四半期比550.1%増)

養命酒関連事業

養命酒関連事業売上高 5,977百万円
(前年同四半期比1.2%減 ↓)

◆ 養命酒

売上高 5,405百万円
(前年同四半期比3.0%減 ↓)

・養命酒 (国内)

国内における「養命酒」につきましては、安定的な販売を堅持することを目的に、新規顧客の獲得と継続的な飲用に繋げるための効率的な販売促進活動に努めました。「女は7の倍数、男は8の倍数」の節目年齢における養生や「胃腸不調」、「肉体疲労」などの症状を訴求するとともに、提供番組へのテレビ広告、テレビスポット広告やウェブキャンペーン、交通広告、ラジオ広告、雑誌とのタイアップ広告等を実施し、併せて店頭における販売促進活動を展開しました。売上はテレビスポット広告の効果的な実施などにより6月以降は毎月前年を上回って推移したものの、4月から5月にかけて消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動による影響を受け、国内における「養命酒」の売上高は5,180百万円（前年同四半期比3.8%減）となりました。

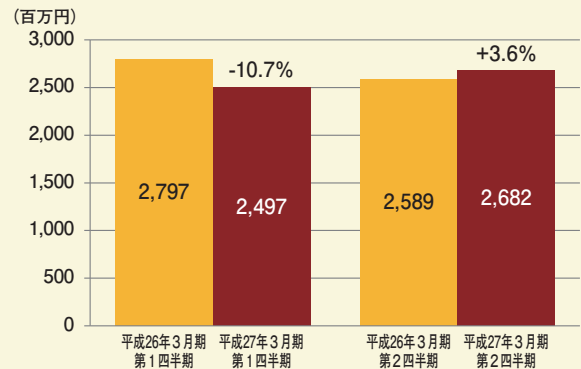
・養命酒 (海外)

海外における「養命酒」につきましては、東南アジア諸国を中心として「養命酒」の理解と知名度の向上を目的に市場調査や現地代理店を通じた市場環境に即したマーケティング活動に取り組み、店頭での大量陳列による露出向上と試飲会の実施など店頭販売促進活動に努め、海外における「養命酒」の売上高は前年同四半期を上回る状況で推移し、224百万円（前年同四半期比22.8%増）となりました。

養命酒のテレビ広告イメージ



「養命酒」(国内)の売上高推移



「養命酒」(国内)の売上高は第1四半期(4-6月)において消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動による影響を受けましたが、6月以降は毎月前年を上回って推移し、第2四半期(7-9月)では前年同四半期を上回りました。

◆ その他商品・サービス

売上高 572百万円

(前年同四半期比18.9%増 ↑)

【主要商品・サービスの状況】

・ハーブのお酒

「ハーブのお酒」につきましては、「ハーブの恵み」の売上は前年同四半期を下回ったものの、「フルーツとハーブのお酒」は、本年4月よりラインナップを強化し、夏期においては季節性の高い「フルーツとハーブのお酒スパークリング」の販売促進に注力するとともに、セット品販売や夏をテーマとした企画、プレゼントキャンペーンの企画提案など小売店と連携した店頭販売促進活動を実施したことにより、前年同四半期を上回る状況で推移し、「ハーブのお酒」の売上高は160百万円（前年同四半期比8.7%増）となりました。

・食べる前のうるる酢

「食べる前のうるる酢」につきましては、テレビスポット広告による認知度の向上を図るとともに、ウェブ広告、通信販売におけるキャンペーンを実施しました。また、本年3月に関東1都6県のスーパーマーケットで発売した「食べる前のうるる酢ビューティー」につきましては、特に店頭での試飲会に注力するとともに、引き続き新規取扱店の獲得に努めました。「食べる前のうるる酢」の売上高は「食べる前のうるる酢ビューティー」の売上が寄与し93百万円（前年同四半期比151.3%増）となりました。

・くらすわ

「くらすわ」につきましては、レストランは前年同四半期を下回る状況で推移しましたが、販売分析に基づいた商品の入替や利益率の高いオリジナル商品の開発・投入、販路の拡大などに取り組んだことにより、「くらすわ」の売上高は231百万円（前年同四半期比12.5%増）となりました。

本年4月より新発売した
「フルーツとハーブのお酒スパークリング」



本年3月より新発売した
「食べる前のうるる酢ビューティー」



その他

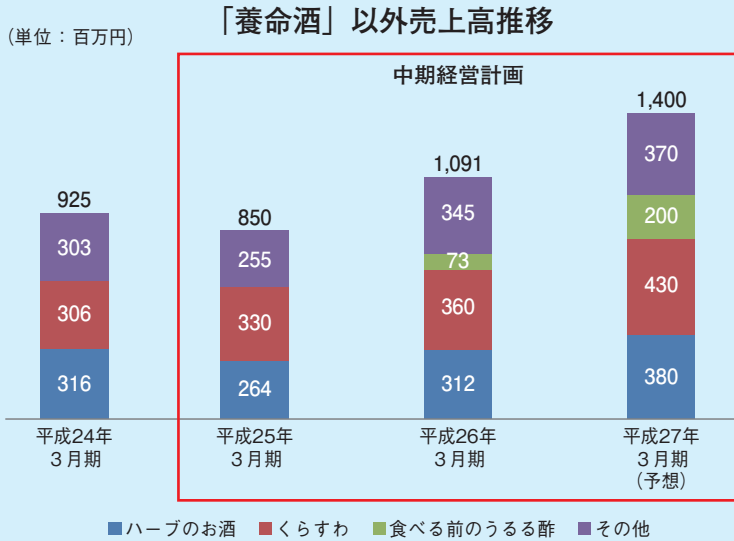
◆ 不動産賃貸、太陽光発電

売上高 132百万円

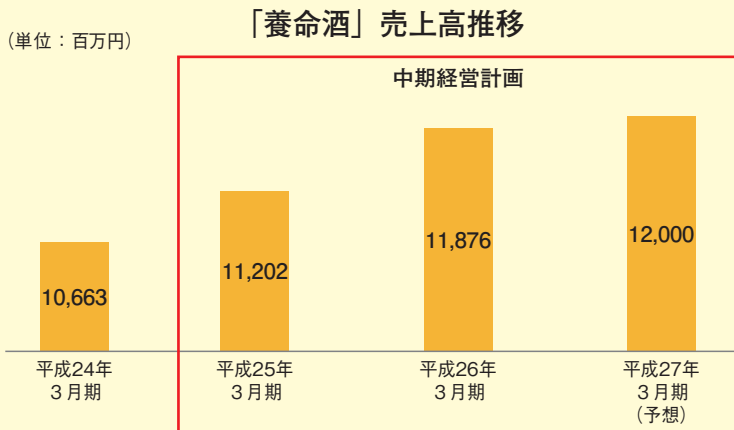
(前年同四半期比87.1%増 ↑)

今後の取組みと通期業績予想

「新規事業領域の拡大と成長性の確保」



「養命酒関連事業による安定的収益基盤の構築」



今後の取組みにつきましては、中期経営計画の最終年度としてその目標達成に向けて、「美容と健康」への関心の高い生活者の皆様に向けた商品の拡充、「くらすわ」における商品の拡充と顧客ニーズの把握、輸出領域の拡大に向けた海外事業の推進等により、新規事業領域の拡大と成長性の確保を推進し、これらの施策に必要な投資を積極的に行い、「養命酒」以外の売上高の拡大を図ってまいります。

また、コア商品「養命酒」の安定的な販売を堅持するため、効率的効果的な販売促進活動に努め、収益構造の一層の改善を行うとともに、原材料の安定的確保に取り組み、養命酒関連事業による安定的収益基盤の構築を図ってまいります。

株主の皆様におかれましては、なお一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申しあげます。

平成27年3月期業績予想

売上高	13,490百万円 (前年同期比4.0%増)
営業利益	2,250百万円 (前年同期比2.1%増)
当期純利益	1,690百万円 (前年同期比2.4%増)

エイジングケア関連商品開発

老化は20～30代から始まっており、この老化の要因の1つに「糖化ストレス」があります。見た目にはわかりやすい肌の老化に対して「糖化ストレス対策」により、肌を美しく保つことを目標とした商品の開発に取り組んでいます。今後もこの分野の商品の拡充を図る一方で、高齢化社会にも目を向けていきます。年を重ねるにつれて発症する病の多くにも「糖化ストレス」が大きく関わっています。「糖化ストレス対策」により現在の健康を維持したり、病気の一步手前の状態である「未病」を改善できるよう新たな機能・価値を創造し、機能性を有する食品の開発に取り組んでいます。



糖化ストレスとは

「糖化」とは体内で余った糖分が、たんぱく質に結合し劣化させることです。たんぱく質の中でも特に「糖化」されやすいのがコラーゲンです。コラーゲンは、皮膚、血管、骨、関節など多くの場所に存在しているため、「糖化」により劣化すると、肌は荒れ、血管のしなやかさは失われ、骨はもろくなり、関節も硬くなるなど、いわゆる老化の現象が現れます。この「糖化」は多くの生命現象と切り離せない程密接な関係があるため、これらの関係を含めた広い意味で「糖化ストレス」と呼ばれています。

ホームページ、メールマガジンを通じて「健康情報」を発信

当社ホームページでは、「健康知識・情報」サイトの中で東洋医学の病理概念のひとつである「未病」や、「冷え症対策」の情報などを掲載しています。



「健康知識・情報」サイト
<http://www.yomeishu.co.jp/health/>

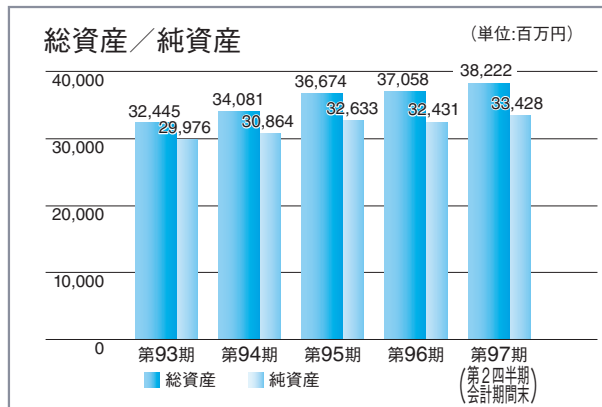
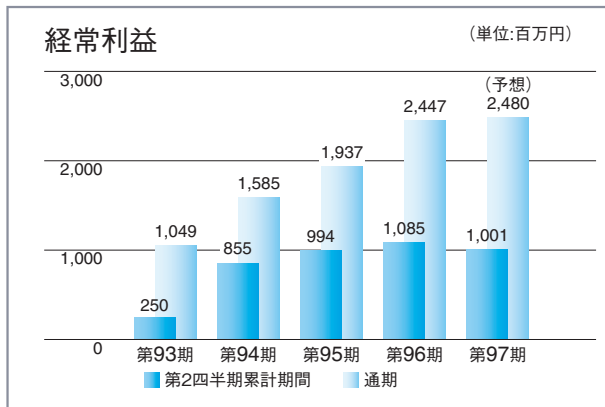
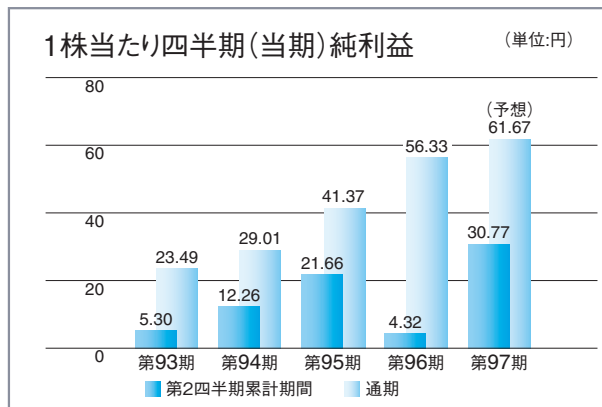
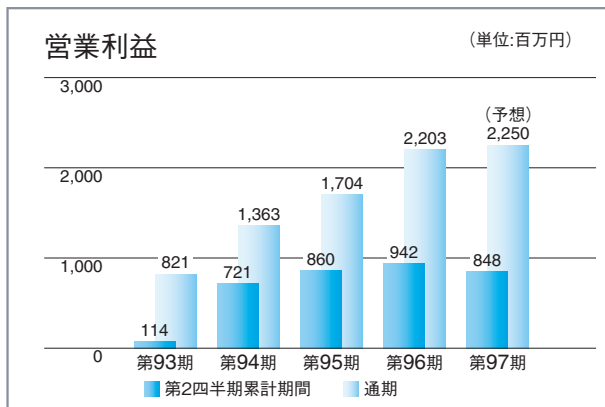
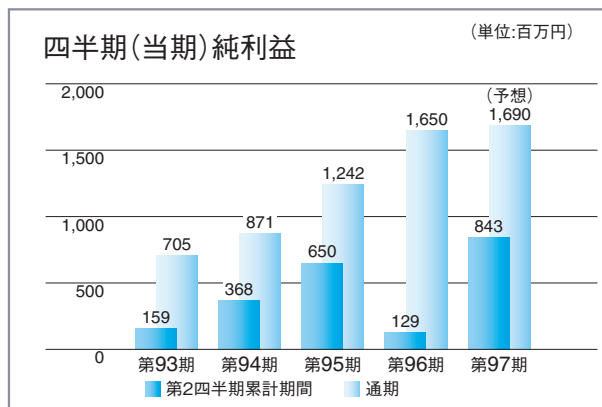
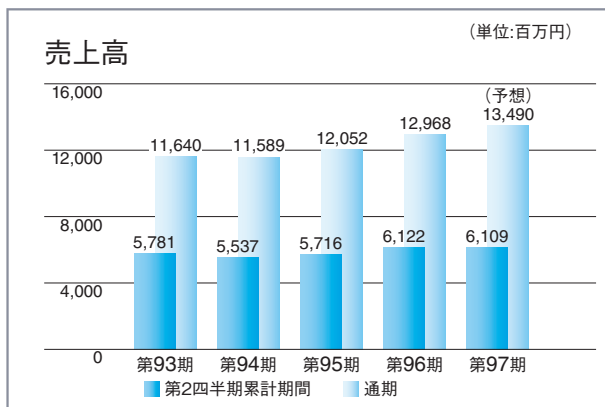
また、当社が毎月下旬にお送りする「健康」に関するメールマガジン「元気通信」では、健康にちなんださまざまなテーマを月替わりで特集し、「健康レシピ」や「健康知識」「生薬知識」など皆様の健康生活に役立つ耳より情報をお届けしています。



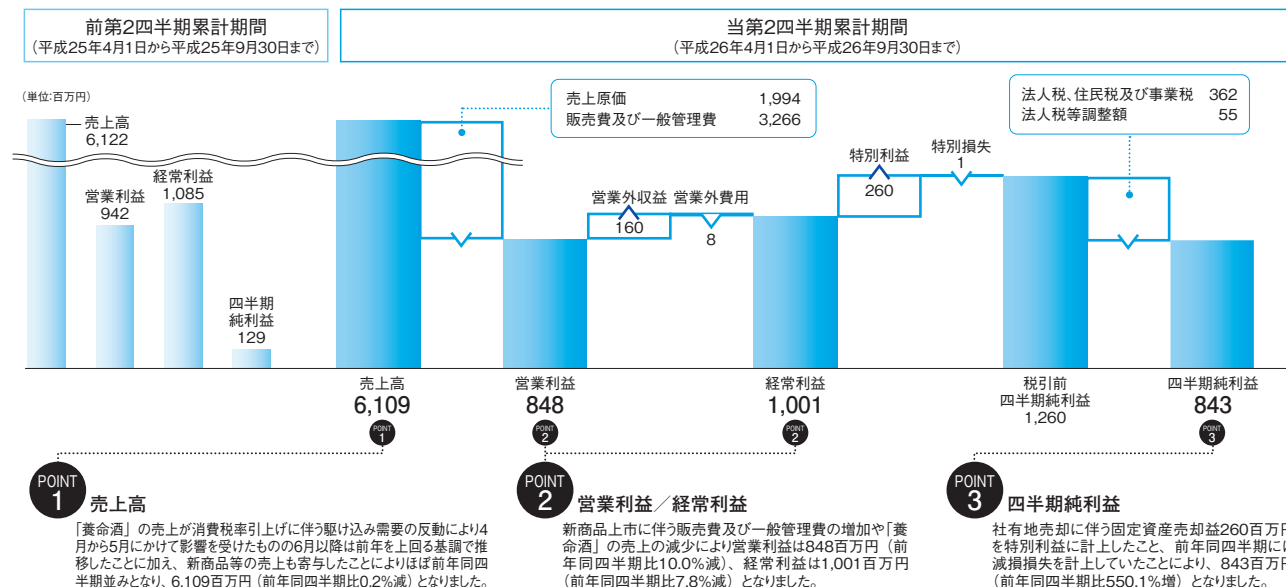
メールマガジンご登録者のうち、アンケートにお答えいただいた方の中から抽選でプレゼントも!

メールマガジンの配信をご希望の方は以下のアドレスからご登録ください。

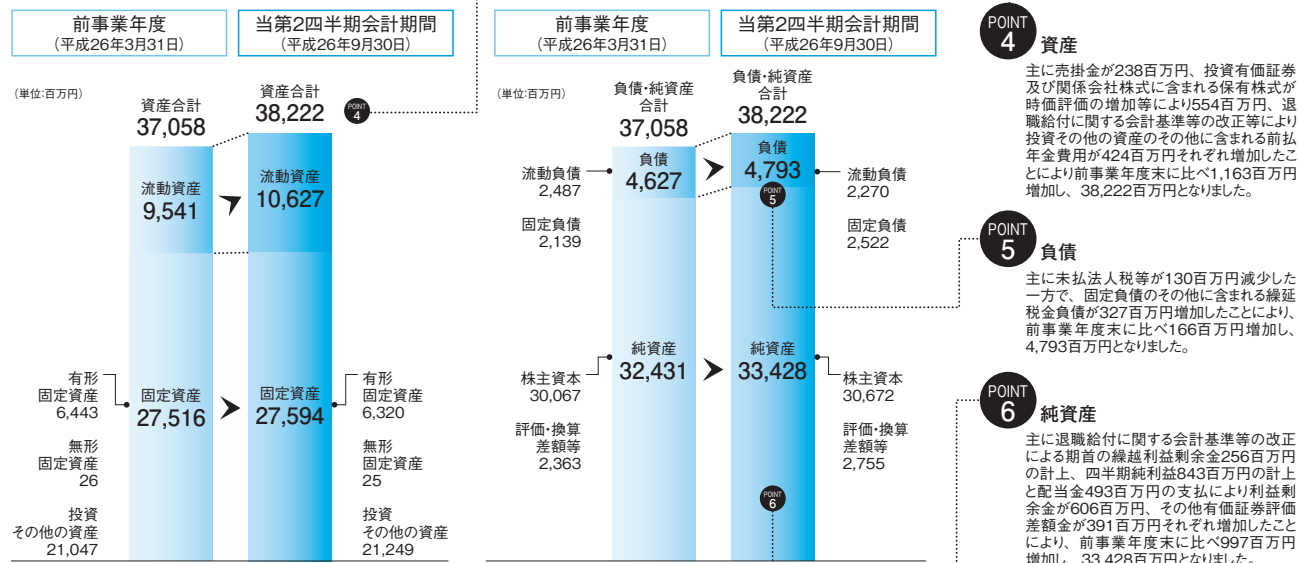
<http://www.yomeishu.co.jp/genkigenki/>



損益計算書の概要



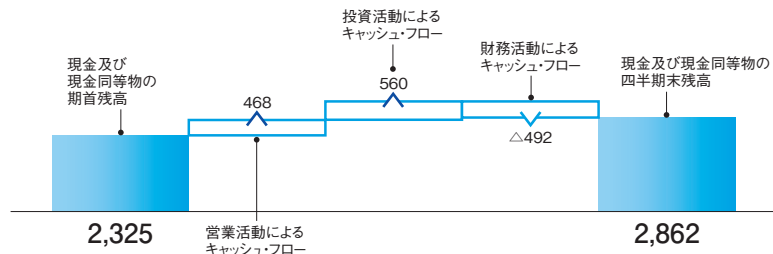
貸借対照表の概要



》キャッシュ・フロー計算書の概要

当第2四半期累計期間
(平成26年4月1日から平成26年9月30日まで)

(単位:百万円)



POINT
7

キャッシュ・フロー

営業活動の結果増加した資金は、468百万円（前年同四半期比14.2%減）となりました。これは主に税引前四半期純利益1,260百万円、減価償却費232百万円等の増加要因と、有形固定資産の売却益260百万円、売上債権の増加額238百万円、法人税等の支払額491百万円等の減少要因によるものです。

投資活動の結果増加した資金は、560百万円（前年同四半期は885百万円の減少）となりました。これは主に定期預金の純減による収入500百万円、有形固定資産の売却による収入274百万円、有形固定資産の取得による支出209百万円によるものです。

財務活動の結果減少した資金は、492百万円（前年同四半期比8.7%減）となりました。これは主に配当金の支払いによるものです。

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物は、前事業年度末に比べ536百万円増加し、2,862百万円となりました。

会社概要

(平成26年9月30日現在)

社名	養命酒製造株式会社 YOMEISHU SEIZO CO., LTD.
本店所在地	〒150-8563 東京都渋谷区南平台町16番25号 電話 03-3462-8111 FAX 03-3462-8340 URL http://www.yomeishu.co.jp/
事業所	大阪支店、駒ヶ根工場、商品開発センター くらすわ、鶴ヶ島太陽光発電所
設立	大正12年（1923年）6月20日
資本金	16億5,000万円
上場	東証市場第1部、名証市場第1部
事業内容	養命酒、酒類及び医薬品等の製造・販売 飲食店及び売店の経営 不動産の賃貸 自然エネルギー等による発電事業及び電気の供給、販売等に関する業務
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
従業員数	267名

(平成26年9月30日現在)

役員	代表取締役会長	川村 昌平
	代表取締役社長	塩澤 太朗
	専務取締役執行役員	田中英雄
	常務取締役執行役員	吉松 敬雄
	常務取締役執行役員	神林 敬
	取締役執行役員	大森 勉
	取締役執行役員	清水 政明
	取締役執行役員	丸山 明彦
	取締役執行役員	宮下 克彦
	取締役	白井 汪芳
	常勤監査役	中川 博之
	常勤監査役	宮下 久宜
監査役	笠原 孟	
監査役	斉藤 隆	

※1 社外取締役であります。

※2 社外監査役であります。

■ 上位10名の株主（平成26年9月30日現在）

株主名	持株数
大正製薬ホールディングス株式会社	6,600千株
三菱UFJ信託銀行株式会社	1,449
株式会社八十二銀行	1,300
トーア再保険株式会社	1,096
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	771
大同生命保険株式会社	603
株式会社三井住友銀行	529
藤澤玄雄	450
キッコーマン株式会社	442
株式会社十八銀行	423

（注）当社は、自己株式を5,597千株保有しておりますが、上記上位10名の株主からは除外しております。

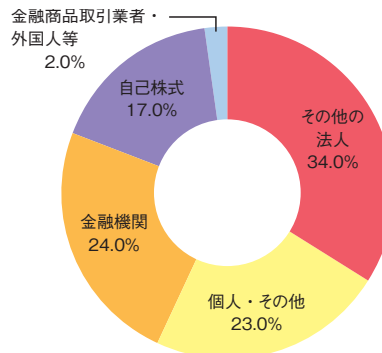
■ 株主メモ

証券コード	2540
一単元の株式数	1,000株
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月中
同総会基準日	毎年3月31日
配当金受領株主確定日	毎年3月31日
株主名簿管理人	
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711（通話料無料）
公告掲載方法	電子公告により行います。 公告掲載URL http://www.yomeishu.co.jp/ ただし、やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

■ 株式の状況（平成26年9月30日現在）

発行可能株式総数	132,000,000株
発行済株式の総数	33,000,000株
株主数	2,991名

■ 所有者別株式分布状況（平成26年9月30日現在）



■ 株式に関するお手続きについて

住所・氏名など届出事項の変更、配当金振込先の指定、買取請求その他各種お手続き	<ul style="list-style-type: none"> 証券会社の口座に当社株式が記録されている株主様 口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ります。 特別口座に当社株式が記録されている株主様 左記三菱UFJ信託銀行にお問い合わせ願います。
未受領配当金のお支払い	三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いします。

当社のIRサイトでは、株主・投資家の皆様に向けて「企業情報」「経営方針」「IR資料」などの情報を掲載しています。より多くの皆様にご利用いただけるよう、今後も内容の充実に努めてまいります。



<http://www.yomeishu.co.jp/company/>



養命酒製造株式会社
東京都渋谷区南平台町16番25号
TEL : 03-3462-8111 FAX : 03-3462-8340